

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年3月15日(2022.3.15)

【国際公開番号】WO2021/130802

【出願番号】特願2021-566386(P2021-566386)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/534(2006.01)

A 6 1 F 13/535(2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/534 1 0 0

A 6 1 F 13/535 1 0 0

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年2月24日(2022.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

相対向する第1シート及び第2シートと、両シート間に介在配置された中間シートとを具備し、該第1シートと該中間シートとの間に、吸水性材料として少なくとも吸水性ポリマーを含有する第1コアが介在配置され、該中間シートと該第2シートとの間に、吸水性材料として少なくとも吸水性繊維及び吸水性ポリマーを含有する第2コアが介在配置された吸収体であって、

前記第1コアの形成材料の80質量%以上が吸水性ポリマーであり、

前記第1コアは、前記第2コアに比べて、形成材料の総質量に対する吸水性ポリマーの含有質量の比率が大きく、且つ前記第1コアは、前記第2コアに比べて、吸水性ポリマーの坪量が小さく、

30

前記第1シート、前記第1コア及び前記中間シートからなる積層構造の、下記式(1)で算出される吸液前後の厚み変化量あたりの曲げ剛性変化率をBRとした場合、互いに直交する二方向及び該二方向と直交せずに交差する他の方向の三方向から任意に選択される二方向の該BRが、それぞれ5.0以下である、吸収体。

$$BR = (B_w / B_d) / T_{0c} \quad (1)$$

$B_w$  : 前記積層構造の吸液後の曲げ剛性

$B_d$  : 前記積層構造の吸液前の曲げ剛性

$T_{0c}$  : 下記式(2)で算出される前記積層構造の吸液前後の厚み変化量

$$T_{0c} = T_{0w} - T_{0d} \quad (2)$$

40

$T_{0w}$  : 前記積層構造の吸液後の4.9mN/cm<sup>2</sup>荷重下での厚み

$T_{0d}$  : 前記積層構造の吸液前の4.9mN/cm<sup>2</sup>荷重下での厚み

【請求項2】

形成材料の総質量に対する吸水性ポリマーの含有質量の比率が、前記第1コア/前記第2コアとして、1.1以上5.0以下である、請求項1に記載の吸収体。

【請求項3】

前記第2コアにおける、該第2コアの形成材料の総質量に対する吸水性ポリマーの含有質量の比率が、30質量%以上90質量%以下である、請求項1又は2に記載の吸収体。

【請求項4】

前記第1コアの吸水性ポリマーの坪量と前記第2コアの吸水性ポリマーの坪量との比率が

50

、前者<後者を前提として、後者/前者として、 $1.1$ 以上 $10.0$ 以下である、請求項1~3の何れか1項に記載の吸収体。

【請求項5】

前記第1コアの吸水性ポリマーの坪量が、 $60\text{ g/m}^2$ 以上 $700\text{ g/m}^2$ 以下である、請求項1~4の何れか1項に記載の吸収体。

【請求項6】

前記第2コアの吸水性ポリマーの坪量が、 $65\text{ g/m}^2$ 以上 $800\text{ g/m}^2$ 以下である、請求項1~5の何れか1項に記載の吸収体。

【請求項7】

前記三方向から任意に選択される二方向それぞれの前記BRが、 $0.1$ 以上 $4.8$ 以下である、請求項1~6の何れか1項に記載の吸収体。 10

【請求項8】

前記三方向の前記BRが、それぞれ $5.0$ 以下である、請求項1~7の何れか1項に記載の吸収体。

【請求項9】

前記積層構造の一方向の吸液後の曲げ剛性 $B_w$ が、 $0.3\text{ mN}\cdot\text{cm}^2/\text{cm}$ 以上 $200\text{ mN}\cdot\text{cm}^2/\text{cm}$ 以下である、請求項1~8の何れか1項に記載の吸収体。

【請求項10】

前記吸収体が、着用者の股間部に配される吸収性物品の吸収体として使用されるものであり、 20

前記第1コアにおける前記吸収性物品の着用時に前記股間部に配される領域において、前記吸水性ポリマーが均一に分布している、請求項1~9の何れか1項に記載の吸収体。

【請求項11】

前記吸収体は、平面視において一方向に長い形状を有し、該吸収体の長手方向中央を境界として、該吸収体の長手方向一方側の方が、該吸収体の長手方向他方側に比べて、前記吸水性材料が多い、請求項1~10の何れか1項に記載の吸収体。

【請求項12】

前記吸収体が、着用者の股間部に配される吸収性物品の吸収体として使用されるものであり、

前記吸収体は、その長手方向において吸水性材料が偏在している側が、前記吸収性物品の腹側部寄りに位置するように配置されている、請求項1~11の何れか1項に記載の吸収体。 30

【請求項13】

前記第1シート及び前記中間シートそれぞれの前記第1コアとの対向面に接着剤が塗布されており、

前記接着剤のうち、前記第1コアにおいて吸収すべき液と最初に接触する受液面側に塗布されたものは、その接着剤の塗布領域において塗布部と非塗布部とが混在するように塗布されており、

前記接着剤のうち、前記受液面側とは反対側に塗布されたものは、その接着剤の塗布領域において非塗布部が実質的に存在しないように塗布されている、請求項1~12の何れか1項に記載の吸収体。 40

【請求項14】

前記第2コアは、該第2コアの形成材料が存在しないか又は周辺部よりも低坪量で存在する、低剛性部を有する、請求項1~13の何れか1項に記載の吸収体。

【請求項15】

請求項1~14の何れか1項に記載の吸収体を備えた吸収性物品。